

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス リーフ城南		
○保護者評価実施期間	2026年 1月 20日		2026年 2月 2日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	26名	(回答者数) 24名
○従業者評価実施期間	2026年 1月 20日		2026年 2月 6日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5名	(回答者数) 5名
○事業者向け自己評価表作成日	2026年2月19日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内で研修を開催する機会が確保されている。	法人内では月に一回程度、定期的に研修を実施している。職員全体が統一した療育知識・技術を習得できる体制を整えている。学んだ内容は現場支援に反映し、支援の質の向上に繋がっている。また、外部研修に積極的に参加できる環境があり、専門性を高められるよう取り組んでいる。	研修スケジュールを計画的に立て、現場での課題解決につながる実践的な研修を継続して実施していく。また、研修内容を現場で実践し、その結果をフィードバックする仕組みを取り入れ、継続的な人材育成プログラムの充実を図っていく。
2	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげている。	日々の業務の中で風通しの良い職場環境づくりを大切にしており、職員一人ひとり外見を出しやすく、各スタッフの視点を共有できる環境を整えている。また利用者支援に関するミーティングを定期的に行い、現状と今後の課題を職員全体で把握するとともに、支援へ迅速に反映できている。	支援内容のさらなる充実に向け、職員一人ひとりの療育に関する知識・技術の向上を図り、利用者一人ひとりに応じた質の高い意見交換を目指す。また、各職員が担当業務への責任意識を持ち、多角的な視点でのミーティングを継続し、事業全体の向上に繋げていく。
3	活動プログラムが固定化しないよう工夫している。	それぞれの利用者の行動特性を職員一人ひとりが把握し、その特性や日々の状態、環境に応じて柔軟な支援を行っている。また、活動プログラムの検討や調整を行い、利用者の笑顔を引き出し安定して過ごせる環境づくりを大切に、安心して登所していただけるよう支援に努めている。	法人内研修および外部研修を通して療育に関する知識・技術の向上を図り、その学びを実際の支援に反映していくことで、利用者一人ひとりの人生に寄り添った支援の充実継続して取り組んでいく。

	事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	第三者による外部評価を実施する機会が少ない。	第三者による外部評価を受ける機会が少なく、事業所内の視点に偏りが生じる可能性がある。そのため、外部の視点を取り入れた評価や助言を取り入れた改善が課題となる。	今後、第三者による評価を受ける機会を設け、外部からの助言や評価を業務改善につなげていく。また事業所の基本方針を大切にしながら、外部の視点を取り入れ、柔軟で質の高い事業所運営体制の構築を図っていく。
2	地域との交流参加が少ない。	日常の療育プログラムや事業所内での利用者同士の交流・活動が中心となっており、地域との関わりを持つ機会の確保が十分に図れていない。	利用者の将来的な社会生活力の向上を目指し、地域のイベントへの参加や地域の方々との交流づくりを図り、地域社会との関わりを促進していく。
3			